

山雲水月

発行責任者 仁叟寺 住職 渡辺啓司

平成26年 住職年頭挨拶



甲午

「共に生きる寺として」

自坊の檀務を始め總和会会務・法縁寺院の法要式典の参加等、一年が瞬く間に終了したという思いです。

当寺東側歴史散策路右側の竹林1,200平米（吉井晃氏寄贈）、700平米（井上澄子氏寄贈）の全伐採が、高崎市里山元気再生事業として檀信徒ボランティア及び地元区長他地区役員の皆様の協力に依り四カ月に亘り実施され整備も終了し、元の里山に戻りつつあります。これから植林作業も始まります。

更に、民間で県内初めてとなる避難所として高崎市の指定を受け、万一の災害に備える寺となりました。これもまた、寺役員・地元議員・区長他関係者各位のご支援とご理解のお陰であります。

また、(株)第一テクノ（東京・向井善彦社長）が大型発電設備一式を、(株)進展工業（新潟・長谷川弘会長）が災害時用簡易トイレを、(株)伊藤園群馬支店より災害時対応自販機の設置等、大変お世話になりました。環境の整った避難所となり、地域での総合防災訓練も実施され、寺が果たす社会的責任が確実に進んでおります。

今後とも、檀信徒各位のご協力をお願いいたし、家内安全・万福多幸を祈念し、年頭挨拶とさせていただきます。



↑ 總和会関東大会群馬大会に於いて導師を勤める住職（平成25年6月）

平成26年 仁叟寺年間行事予定

- 1/1~1/3 年頭祈禱・年賀受
- 1/4~1/7 年始挨拶
- 1/10 年賀寺例
- 2/3 大節分会
- 2/15 釈尊涅槃会
- 3/9 大般若会大施食会法要
- 3月中旬 筆供養法要
- 3/18~3/24 春季彼岸会
- 4/8 釈尊降誕会(花祭り)
- 7/13~7/16 新暦盂蘭盆会
京浜地区檀信徒棚経
- 7月下旬(一泊二日)
第33回子供禪の集い
- 8/10 中元寺例
- 8/13~8/16 盂蘭盆会
- 9/20~9/26 秋季彼岸会
- 10/18 檀信徒研修参拜旅行
- 12/8 釈尊成道会
- 12/10 歳暮寺例
- 12/31 除夜会

※毎週土・日曜日 書道教室
 ※毎週水曜日 定例坐禅会
 ※隔週水曜日
 梅花講・琴教室・華道教室

平成二十六年 年回表

一周忌	平成二十五年	二十三回忌	平成四年
三回忌	平成二十四年	二十七回忌	昭和六十三年
七回忌	平成二十年	三十三回忌	昭和五十七年
十三回忌	平成十四年	五十回忌	昭和四十年
十七回忌	平成十年	百回忌	大正四年

※1 以上、各ご家庭に於いてご確認下さい。
 ※2 該当檀信徒各家には、封書にて通知が届きます。
 (但し、五十回忌・百回忌を除く)

高崎市指定避難所・仁叟寺の取り組み

災害時の駆け込み寺 仁叟寺県初の避難所指定

高崎市は、災害時に建物を開放して受け入れる避難所として、同市吉井町神保の仁叟寺（渡辺啓司住職）を指定した。寺院が避難所に指定されるのは県内で初めて。寺院ならではの広い畳敷きのスペースが避難生活に適する環境だとして、寺と地元住民が市に提案していた。渡辺住職は「寺が社会的責任を果たすことにもつながる。他の寺院にも広がってほしい」と話している。

発電装置や備蓄本堂で寝泊まり

仁叟寺には、本堂など計360坪（約1200平方メートル）の畳敷きの部屋があり、少なくとも500人は寝泊まりができる。避難対象は吉井町第13区の約300世帯と、2,12両区の一部の世帯。従来の避難所までの距離と比べ最大1キロ程度から約50メートルに短縮され、200世帯超で避難所が近くなるという。

市は寺に災害用備蓄品セットを設置し、対象地区への周知を進めている。市防災安全課は「地域に密着し、畳敷きの環境がある寺を災害時に開放してもらえるのはありがたい」としている。市が民間施設を指定避難所にするのは初めてで、県内の他市町村でも私立大学や、洪水時に限り避難所になる高層の商業施設など少数を除き、ほとんどが学校や公民館だ。高崎市は、申し出があれば今後も民間施設の指定を検討する。

東日本大震災後、被災地でボランティア活動を行ってきた寺は、体育館の冷たい床に段ボールや毛布を敷き詰めて過ごす避難者や、大勢の住民を受け入れて「駆け込み寺」となっていた被災地の寺院を目の当たりにし、「災害時に寺が果たせる役割があるのでは」と模索してきた。

13区の関口孝雄区長(70)も「独居の高齢者が多い地区なので、身近な寺に逃げ込めるのは安心」と賛同し、地元住民らの署名を集めて市に提出、ことし5月に指定された。

寺は9月指定避難所を示す看板を寺の周辺4カ所に設置した。11月には、防災設備の施工などを手掛ける「第一テクノ」（東京都品川区）が寄贈した非常用発電装置も完成し、停電時に敷地内で17時間分の電気が供給できるようになる。（上毛新聞11月8日付社会面記事より）



高崎・仁叟寺住民防災訓練

高崎市指定避難所になった同市吉井町の仁叟寺で、地元住民が防災訓練を行った。子どもから大人まで約90人が、施設見学や心肺蘇生法の実習を通して、災害時の対応を確認した。

渡辺啓司住職が、災害時には本堂など畳敷きの建物を開放することを説明。参加者は、避難所の指定を受けて民間企業から寄贈された、停電が起きてから10秒で発電する発電機や、排せつ物を固めて燃えるごみにできる携帯トイレを見学した。

停電時、手動で発電して飲み物を取り出せる自動販売機の使い方も紹介され、多胡大輝君（12）は「最先端で驚いた。多くの人のために役立ってほしい」と話していた。寺はことし5月、市内では初となる民間の避難所に指定された。住民への周知のため、同市第13区が初めて行った。

（上毛新聞11月28日付地域面記事より）

→ 昨年十一月二十三日に仁叟寺にて実施された地域防災訓練風景



高崎市里山元気再生事業報告

地域の里山で放置され、荒れている竹やぶを整備し、イノシシやハクビシン等の有害鳥獣が出没しにくい環境を作ろうと、高崎市が昨年度から開始した「里山元気再生事業」。地元地区のご尽力もあり、仁叟寺遊歩道脇の竹やぶが、当事業に指定されました。

指定を受け、檀信徒の皆様、特に総代人世話人の方々には、各小学校校区別におてんま作業（ボランティア）にご尽力賜りました。お陰様で、昨年12月を以って当事業は一段落いたしました。また、当事業に於いて地元第13区関口区長・矢島巖様・小沢昇様には、特にお世話になりました。ありがとうございました。

里山の真の再生には、竹やぶの繁殖力が弱まるまでの3年以上の時間が、まだまだ掛かるとも言われております。寺では、サクラやモミジ等を植栽し、来寺された方がほっとするような環境を提供しようと思っております。しばらく時間のかかる事業ですが、引き続き檀信徒はじめ地域のご協力を仰ぎ、進めて参ります。



↑上) ボランティア作業風景。 下) 集められた竹材。処分場にてチップとなり再生利用されます。仁叟寺だけで延べ4,000本以上を伐採いたしました。

仁叟寺秋の研修旅行報告

昨年10月17日、毎年恒例の仁叟寺秋の研修参拝旅行が行われました。毎年10月の第三土曜日に行われ、茨城県へ伺いました。

参加者は53名。群馬県に3台しかないと言われる59人乗りの大型バスにて移動。北関東自動車道の開通により、茨城県も近くなりました。日本三大稻荷の笠間稻荷神社参拝の後、水戸の偕楽園、大洗那珂湊にて昼食及び被災地支援を兼ねた水産市場の見学。当山も御縁のあります水戸光圀公の帰依した名僧・東皐心越禅師開山の名刹・祇園寺様に拜登。住職様より丁寧な説明及びお話を伺うことが出来ました。ありがとうございました。

本年も行き先は未だ決まっておりますが、10月18日土曜日に秋の研修旅行を予定しております。奮っての御参加を、お願い申し上げます。

→ 祇園寺様参拝。住職様より山内外の堂宇始め祇園寺様の歴史等、丁寧な説明を頂きました。
 ↘ 日本三大稻荷・笠間稻荷神社参拝。



総代長新年挨拶

新年明けましておめでとうございます

健やかに新年をお迎えのことと、この上ない慶賀であり、お慶び申し上げます。

本寺に於いては、お陰様で充実した年を過ごすことが出来ました。

まず、御住職様は、重要な宗務を担い県内は勿論、関東一円に亘る教化に多忙な日々を過ごされました。これも御住職様の高德深学であり、その教化力によることに他なりません。寺に残った皆様が寺務を的確に運営されていたお蔭でもあります。檀信徒としては大変有難いことであり、誇らしいことでもあります。これらも檀家諸氏の後ろ盾の賜物であり、寺を中心としたご協力のお蔭と考えます。

去年は、自然界も厳しいものでした。厳寒・酷暑・風水害、その上に心のすさぶような事件が次々と続きました。震災の復興も心の通うような復興は少なく、口先だけで言葉ばかりで済まされているようにも思えます。これは、『言おおき人は〜』の古語の通りであり、現代の病かもしれません。

筆者・井上正俊 総代長



顧みまして、皆様方の菩提寺・御先祖様に対する信仰心と宗教心に改めて敬服し、感謝申し上げます。

本年も円滑な菩提寺であり、しかも皆様の心を一層深められるような名実共に中核寺院でなければなりません。ご協力を重ねて宜しくお願いいたします。

最後に、本年も是非慶事の多からん事を願ひ皆様の御一家の御繁栄と菩提寺の護持振興を祈念し、新年のご挨拶といたします。

平成26年甲午元旦 仁叟寺総代人一同

(文責、総代長 井上正俊)

仁叟寺総代人一同

井上正俊	篠崎和男	新井徳衛
矢島正義	森 久	堀越兼一
神保堯男	橋爪 勝	酒井範明



← 自家発電設備
(株)第一テクノ
(株)進展工業(株)
説明会(役員会)
→ 災害時用トイレ

篤志寄進 (善意の紹介)



→ 災害対応心自販機
(株)伊藤園



行雲流水 (編集後記)

明けまして、おめでとうございます。

昨年一昨年に引き続き、山内外での行事が数多く行われました。関係各位に改めまして厚く御礼を申し上げます。

さて、仁叟寺及び住職を務めます龍源寺では、HPの充実を図っており、細かに更新をさせていただいております。そのHPにも記載があるように、当方のブログ及びフェイス

編集人 副住職 渡辺龍道

ブックも更新してございます。寺院が伝えるべきことなどを考え、教化の意を含め作成しておりますので、宜しければ、是非併せてご覧いただき、ご登録いただければ幸いです。

(仁叟寺HP <http://jinsouji.net/>)

本年も、宜しくお願い申し上げます。(龍)

FBも始めました。詳細は仁叟寺HP